

約45000人。日本にお

ける1年間の国内交通事故
死者数だ。警察庁によれば
2014年、国内の交通事
故発生件数は約57万件たっ
た。1分間に1件以上の交
通事故が発生していること

になる。

江上氏が代表を務める事
故なき社会は、その名の通
り交通事故ゼロ社会の実現
をめざし、免許取得者に対
して安全運転の指導を行っ
ている。一般に運転研修と

いえば、保険会社や自動車
学校が通常業務と並行して
行う場合が多いが、同社は
事故防止の専門会社として
「より精度の高いカリキュ
ラム、指導内容の提供に努
めている」という。

江上氏は大学卒業後、リ
クルートへ入社。やがて30
歳を機に、祖父が設立した
南福岡自動車学校の経営を
継いだ。

同校では約25年にわた

事故なき社会代表取締役社長 江上喜朗氏

事故ゼロへ運転指導に注力

り、交通心理学の専門家と
ともに安全運転の技術研究
を行っている。この研究メ
ンバーで九州大学名誉教授
の松永勝也氏が提唱する

「KM理論」に基づく運転
習慣が浸透すれば、「交通
事故は、必ず無くなる」と
確信し、2012年に事故
なき社会を設立した。

「KM理論」では、事故
による進行方向空間距離（車
間距離）の短縮を2大要
因としている。交通事故の
4割が追突事故、3割が出
会い頭の事故だ。

同社が実施している「明
日の事故ドライバー発見ア
スト」は、交通事故の90%
が初犯であることを受けて
開発したもの。企業として
は、限りある予算の中で、
まずはアストを実施し、事
故を起こす可能性が高いド
ライバーから優先的に運転
研修を受講させるという利
用法もある。

「KM理論」では、事故
の発生要因を統計学的に分
析し、「停止距離の突発的
な延長」と「急ぎの衝動に

そこで同社の研修では、
具体的な運転指導に力を入
れている。例えば「2度停

止」では、停止線の手前で
止まり、その後見通しの良
い場所でもう一度止まるよ
うにする。「2度目は徐行
で良い」という意見もある
が、徐行と停止では視野が
異なり、止まれば確認でき
る情報量が約2倍に増え
る。

全国各地で出張講義も行
っている。企業や行政、講
和型やグループワーク型と
いうように、その対象や形
式はさまざま。参加者が
主体性を持って臨めるよ
う、双方向参加型の内容を
提供する。詳細は <http://www.anzenkyouiku.jp/>。

【プロフィール】（えが
み・よしろう）1981年
福岡県生まれ。04年東京理
科大学理工学部卒。学生時
代は経営工学科で経営を数
学的に捉える方法を学ん
だ。大学卒業後はリクルー
トへ入社。リクルート退社

後、友人と起業。11年、南
福岡自動車学校代表取締役
社長就任。12年、事故なき
社会を設立し、現職。安全
運転推進協会理事。日本交
通心理学会認定交通心理
士。座右の銘「物事はすべ
て表裏一体」。

を利用した。数多くの営業
車を配す食品メーカーの利
用も多い。

江上氏は、経営の視点か
らも、社員の運転指導の重
要性を説く。「仮に、営業
車を300台保有している
企業が年間に起こす事故を
物損30件、人身3件とし、
翌年0件に改善したとすれ
ば、支払保険料は約120
0万円も節約できる」。

